

2003.10.31

≡どこでも食品衛生掲示板≡

ノロウイルス（小型球形ウイルス）による 感染性胃腸炎の集団発生が全国各地で起きています。

10月下旬になり、ノロウイルスというウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が、岩手県や東京都内の幼稚園や小・中学校で発生しています。

長野県内の感染性胃腸炎の患者数は、今のところ目立っては増加していませんが、例年これからの時期から急に患者数が増加します。それに伴い、ノロウイルスに感染した人が、手をよく洗わないで食事を作ることなどによって、このウイルスによる食中毒が発生し始めます。

そこで、今のうちから次のことに注意して、ノロウイルスの感染症や食中毒にかからないようにしましょう。

外出先から帰ったら、うがいと手洗いをしましょう。
調理の前、食事の前、トイレの後には、石けんで手を洗
いましょう。

【参考】

ノロウイルス

以前は、「小型球形ウイルス」あるいはその頭文字をとって「SRSV」と呼ばれていましたが、食品衛生法等の改正に伴い、「ノロウイルス」という名称を用いることになりました。

ノロウイルスの特徴

このウイルスの感染力は非常に強く、その主な症状はおう吐、下痢や発熱などです。また、ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、冬から春先にかけて流行します。

東京都内の幼稚園で発生した集団発生に関する情報

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2003/10/20dat300.htm> を御覧ください。

内容に関するご意見・お問い合わせ先

- ・長野県庁衛生部食品環境水道課
（電話 026-235-7155, FAX 026-232-7288, 電子メール syokukan@pref.nagano.jp）
- ・最寄りの保健所食品衛生相談窓口